



p ほど言葉を立てて！

10 周年まで あと 70 日 (練習回数は あと 5 回)

1 月 31 日の練習から



Salve Regina:

- ・女性の入りは、p で男性の音色を受けて、優しく柔らかく入る。
- ・p13 の下の段、クレッシェンドをもう少しつけて f で入る (in hac lacrimarum valle ) につなげてクレッシェンド。後半はデクレッシェンドして、p で (E-ia) につなげる。
- ・p14 (E-ia) の「えー」を SP は、もっとクリアーに言い直す形で。
- ・p15 (mi-se-ri-cor-des-o-cu-los) の (o-cu-los) で SP は、音程が下がっても、音量を減らさないで、f のまま次につなげて。p16 の(post ex-i-li-um)も同じ。
- ・p15 (con-verte) の「ve」を、SP は口をもっと縦に開けて。「えー」と喉声が聞こえる。

Ave Maria:

- ・p18 (gra-ti-a) の「a」を Bas はもったきかせて。もたもたしない様に。明るい音で。
- ・p22 (Nunc-et-in-ho-ra mortis-no-strae-) を SP は、もっと口を縦にして歌うこと。
- ・p23 (A-men) の「メー」はもっと口を縦に開けること。「n」を残すように。

Tantum ergo:

- ・p26 (Ge-ni-to-ri) の歌詞が聞こえない。p ほどもっと歌詞をたてて。
- ・p27 の 22 小節からの Alt,Ten は、スッと入ってこれるように。
- ・p28 の 24 小節の Bas もスッと、入ってこれるといいな。
- ・p28 の 26 小節は p で入り、27 小節からは少しずつクレッシェンド。28、29、30 小節まで f を保ち続ける。音程が下がると音量が下がるので注意。(歌詞を考えて、もう少し神を賛美する気持ちが欲しい) 下降形のクレッシェンドは難しい。
- ・p29 (da-ti-o) は、デクレッシェンド。
- ・p29 (A-men) は、次の (A-men) にむかっていく。Alt の (men) は、4 分音符で動いているので、抜かないでしっかりのばして。
- ・p29 の最後の (A-men) は、p でクレッシェンドをかけ、フェルマータで細く後ろ見ごろで歌うつもりで終わる。

旅:

- ・SP は、高音になった時、前身ごろで音を押さないで、後ろ見ごろで歌い、突っ張らないこと。これが、きれいに決まるとうれしいな。
- ・全曲通して歌う。



野の羊:

- ・p19 (おや) の入り方に注意。遅れない事。
- ・p21 (さびしくって) の入り方を揃えること。meno mosso でゆっくりになるので、タイミングを揃えること。

連絡: ・女性の方へ、生地をお配りします。一人 1500 円を小嶋までお願いします。